

神戸建築人
06
KOBÉ-CITY PUBLIC ARCHITECTS



KOBE 
UNESCO City of Design

仕事の時間 × 自分の時間

未来の神戸市を形づくる神戸建築人の日常を紹介

- 1 あなたが仕事について感じること、やりがい、楽しいと感じる瞬間を教えてください。
- 2 働く環境や働き方、仕事以外の時間で取り組んでいることについて教えてください。

1日のスケジュール

※定時出勤・退勤 [8:45 ~ 17:30]

仕事の時間

自分の時間

その他

加藤 哲史 建築住宅局 建築課

2018年入庁 [社会人]

仕事内容: 市有建築物の企画・設計・工事など



1 業務の任されている部分が大きいです。良くも悪くも自ら考えて実行する必要があります。そのため、後から振り返った際に反省することもあります。達成感を得ることも多く、成長実感があります。仕事(人生も同じ)に必要なことは「共感」と「自律」だと思います。神戸市や公共における建築の仕事・方向性に共感し、自らを律しながら仕事をする事ができれば、仕事のプロセスも結果も良いものになると思います。



2 建築課は気さくな方が多く、雰囲気の良い職場です。仕事は少なくありませんが、自分でペースを決めることが出来るので、メリハリのある働き方をして、家庭との両立を図っています。最近、成長することも合わせて遊ぶ工夫(工作、絵を描くなど)を考えてリフレッシュしています。

7:00	8:45	12:00	13:00	16:00	17:30	18:30	19:30	20:30	22:00
朝食・育児	メールチェック デスクワーク	お昼 休み	現場(工事監理)	ミーテ ィング	退勤	育児 風呂	夕食	育児	読書

川瀬 葉月 企画調整局 未来都市政策課

2015年入庁 [大学卒]

仕事内容: 駅前空間の魅力創造、ニュータウンの活性化、子育て世代の働く場の創出など

1 地域の方や、事業者の方、たくさんの人と関わりを持ちながら進めていける仕事がとても面白いと思っています。公の仕事はたくさんの方のために尽くせる仕事なので、人が好きな方にはとても楽しい仕事です。神戸市職員として、「神戸のまちのために」というベクトルで仕事を進められることは、やりがいにつながっています。



2 職場の方はみんな前向きで一緒に仕事をしていて楽しいです。私は休日も家でじっとせずまちに出るタイプですが、まちで感じたこと・インプットした情報を仕事に生かしたいなあと考えているので、色々な場所に行き、色々な人に会っています。もちろん趣味の時間もつくっていて、(シェアハウスなのですが)ごはんをみんなでつくって食べたり、楽器のセッションをしたり、充実した日々を過ごしています。

8:45	9:30	10:30	12:00	13:00	16:00	18:00	20:00	21:00	22:30
出勤	ミーテ ィング	デスク ワーク	お昼 休み	地域の方と ミーティング	メールチェック	デスクワーク	退勤	ご飯	読書・SNS

橋本 政明 こども家庭局 幼保振興課(担当係長)

2017年入庁 [社会人]

仕事内容: 保育施設整備による待機児童の解消など



1 待機児童解消により、子育てしやすい働きやすい生活環境づくりを行うという大切な役割を担っている仕事であり、やりがいを感じます。建築の職能・知識・思考を生かせる業務領域や場面は、建物づくりにとどまらず、とても幅広く深く面白い、というのが実感です。特に行政の仕事は多岐に渡るので、私自身も柔軟に経験を重ねられたらと考えています。



2 子育て環境の充足という目標に向かってチームとして動いており、高いモチベーションと一体感があります。息子二人が未就学で、妻も働いているため、仕事以外の時間は家事・育児がメイン。仕事も家庭も相互にリフレッシュできる大切な場でもあるので、うまくこなせるように日々の工夫を楽しんでいます。週末は巨大遊具のある公園開拓・料理・BBQなど家族みんなで遊んでいます。

6:30	7:30	8:30	12:00	13:00	16:00	19:00	20:00
家事	出勤	ミーティング 図面チェック	お昼 休み	現地調査・検査	ミーティング デスクワーク	退勤	家事・育児・晩酌

遠矢 晃穂 都市局 都心再整備本部 都心再整備部都心三宮再整備課

2019年入庁 [大学卒]

仕事内容: 三宮再整備、市街地再開発事業の推進、補助金などの事務手続きなど



1 「神戸の為に何かしたい」という思いがあれば主体的にできる所が大きな魅力だと思います。三宮の仕事は、長期的なスパンで事業を推進しているため、すぐには目に見える形として実感は湧きにくいですが、私は、「何度も訪れたいような未来の神戸のまち」について職場の先輩と話し合ったり、想像したりする時が一番楽しく、仕事をする上でのモチベーションにも繋がっています。



2 三宮を良くしたいという思いで溢れた職場で、毎日刺激を受けています。最近ではフレックスタイムの使用やweb会議、ペーパーレス化の推進など、時代の変化に応じて働くスタイルが変わってきているように感じます。昔からアニメが好きで、休日はアニメを観たり、イベントへの参加やグッズを買いに行ったりしています。

8:00	9:15	10:00	12:00	13:00	14:00	16:00	18:00	20:00	21:00
出勤 勉強	メール	プロジェクト ミーティング	お昼 休み	デスク ワーク	再開発会社と ミーティング	事業者と ミーティング	デスクワーク	退勤	勉強

長谷川 肇 建築住宅局 技術管理課

2020年入庁 [大学卒]

仕事内容: 建築設計の技術的な管理、設計プロポーザルの運営、建築職員の研修の企画など

1 建築職員は様々な分野の職場で活躍しています。私は、直接的に建築の設計や工事を担当しているわけではないですが、役所の中の人や設計事務所の方、大学の先生方の様々な考え方に触れる機会が多く、日々勉強になっています。私が生まれ育った神戸市のために働かせてもらっていることを何よりも誇りに思っています。



2 「学生時代から続けていた好きなことを、社会人になっても続けられる仕事」だと思います。フリーアドレス制を取り入れた職場、在宅勤務や時差出勤などを利用し、自分にあったワークスタイルで働いています。毎日仕事帰りに運動をしたり、休日にはバイクに乗ったり、好きなことを自分の時間を大切に、オンとオフの切り替えを心がけています。

6:00	7:15	8:15	9:00	11:00	12:00	13:00	15:00	17:00	19:00	20:30
語学学習	出勤	ミーテ ィング	デスク ワーク	お昼 休み	研修の プランニング	建築課と ミーティング	デスクワーク	退勤	運動	

北 麻鈴 建築住宅局 建築指導部 耐震推進課

2019年入庁 [大学卒]

仕事内容: 建築物の耐震化に関する補助事業、耐震化促進のための普及啓発など



1 どの仕事に対しても、何が最善か、常に市民目線で取り組む人でありたいと思っています。私の仕事は、建築物の耐震化という、命を守ることに直接つながる仕事です。未来の地震で助かる人が増えていけると考えるとやりがいを感じます。普及啓発の仕事では、学生と活動するプロジェクト等を実施していて、大変なことも多いですが楽しみながら仕事をしています。建築の仕事だけでなく、幅広いことに挑戦できるのが魅力です。



2 全員で7人の小さな課で、あたたかい上司・同僚に囲まれて仕事をしており、サポートを受けながら、のびのびと色々なことを経験させてもらっています。休日は、友人とおいしいものを食べたり、料理教室に行ったり、野球観戦をしたり、旅行をしたり…。休日に楽しい予定を作って、それに向かって平日は仕事を頑張っています。

7:10	8:45	10:00	12:00	13:00	14:00	16:00	18:30	20:00
出勤	メール チェック	ミーテ ィング	お昼 休み	ミーテ ィング	プロジェクト ミーティング	デスクワーク	退勤	自由に

神戸市役所で働く建築職（神戸建築人）って？ >>>

データで見る

「2020 神戸建築人」

建築職員数 279 人

平均年齢 40.3 歳

男女比 男性：女性＝約 2：1

U-30 男女比 男性：女性＝4：6

一級建築士資格者数 125 人

建築基準適合判定資格者数 54 人

局長級 3 人（平均年齢 55.7 歳）

部長級 10 人（ " 57.2 歳）

課長級 34 人（ " 52.1 歳）

係長級 75 人（ " 44.0 歳）

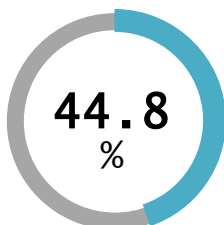
係員 157 人（ " 34.6 歳）

U-30 男女比



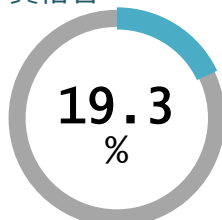
4 : 6

一級建築士



44.8 %

建築基準適合判定資格者



19.3 %

Flexible working

「在宅勤務」「フレックスタイム」

多様な生活環境にある職員のニーズに対応するため、在宅勤務制度やフレックスタイム制を導入しています。通勤負担の軽減や仕事と家庭生活との両立を図ることができます。これらの制度は、新型コロナウイルス感染症予防対策としても積極的な利用を推進しています。

「建築士試験の実務経験」と「資格取得支援制度」

配属される職場が、必ずしも建築士試験の「建築実務の経験」として認められる職場とは限りません。しかし、建築士資格取得も職員のスキルアップのひとつであり、異動等に当たっては受験意志を尊重しています。

また、平成 27 年度より資格取得に要した費用の一部を助成する「資格取得支援制度」を強化。一級建築士や二級建築士、建築基準適合判定資格者の受験料や登録免許税、講座受講料への助成があります。

充実した若手建築職員のサポート体制

建築職を対象とした研修を計画的に行っています。特に、建築職の職域の広さや建築職として備えるべき基礎的な情報を習得するため、採用後 1 年目と 2 年目の研修に力を入れています。また「設計工事」「建築行政」「事業まちづくり」のコース制専門基礎研修を実施しています。このほか、イントラネットやグループチャットを用いた情報提供や、庁内報「建築と技術」を年 2 回発行するなど、建築職向けの情報提供を積極的に行い、仕事の効率化と自身のスキルアップを支えています。

神戸市役所の「少数精鋭」

建築職の総数はおよそ 279 人。市職員約 21,180 人の 1.3%という「少数派」です。

しかし、仕事上のつながりも多く顔なじみばかりですので、職場環境は良好で、世代間交流も盛んです。仲間意識が強く、個性が光る精鋭チームです。

多くのシゴトに触れる機会

ひとつの職場にずっと、とどまることはありません。早ければ 2、3 年で、遅くとも数年で異動があります。若いうちにいろいろなジャンルの仕事や職場を経験することで建築職としてのスキルと行政マンとしてのキャリアを身につけていくことができます。

多岐にわたるシゴト

建築職のシゴトは必ずしも「建物」に限るとは限りません。「都市計画」や「まちづくり」をはじめ、「都心・三宮の再整備」「景観行政」「ウォーターフロント」「観光企画」「食都神戸」など、様々な分野で建築職は活躍しています。

災害支援・復興支援

阪神・淡路大震災での被災・復興経験を生かし、神戸だからこそこできる支援活動を行っています。建築職も被災地に派遣され、被災・り災の判定や応急仮設住宅の建設など、被災された方に寄り添いながら復興支援業務に従事します。

「残業・休日出勤」

職場により残業の有無や程度は異なります。地元説明会や地域イベントへの出務のための残業や休日出勤がある職場もあります。ただし、このような場合は超過勤務手当や振替休日の対象となります。

神戸市と建築好きにとって働きやすい環境

女性建築職の数は年々増えています。全建築職の約 1/3、96 人となり、建設系技術職の中ではダントツです。身近に先輩がたくさんいますので、とても心強いです。また、男性職員の育児休暇も推奨しています。



神戸らしい緑化計画

「神戸らしい緑化ガイドライン（竹中大工道具殿）」



景観行政

「#神戸夜間が綺麗ですね Instagram キャンペーン受賞作品」



たてももの・まち・ルール・仕組みを
つくり、まもり、そだてる
専門技術者のチームです



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

City of Design
KOBЕ

Member of the UNEP
Creative Cities Network
since 2008

【お問い合わせ】

神戸市 人事委員会事務局 任用課 Tel 078-322-5823

令和 3 年 4 月発行

R70

古紙/ハルブ配合率70%再生紙を使用

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。